

# ふれあい つながり かわら版

## 今できる小中一貫教育(5)

### オンライン授業研究会の可能性

令和3年1月26日、兵庫県NIE推進協議会主催の「NIE公開授業」(オンライン公開)が、豊富小中学校で行われました。

今号では、当日の様子を紹介し、オンラインで授業研究会を実施することの可能性について、提案したいと思います。

※NIE(エヌ・アイ・イー)とは、新聞を教材として活用する教育活動のことです。豊富小中学校は、昨年度より、日本新聞協会のNIE実践校として指定を受け、積極的にNIEの研究に取り組んでいます。

この度の「NIE公開授業」は、Web会議ツールの「Zoom」を利用して、全国各地の教育関係者やNIE関係者に対し、7年生(中学一年生)の授業を公開し、その後で研究協議を行うものでした。



授業の様子(生徒の手元を撮る教員)

緊急事態宣言下において、最低限の関係者以外は、同校の教職員であっても、別室で視聴するという徹底した対策の下、授業の様子をオンラインでしっかりと伝えるために、教室の前後に

姫路市教育委員会  
学校指導課  
小中一貫教育推進係  
(079)221-2120



定点カメラと、生徒の手元の作業を撮る教員の移動カメラが用意され、授業の活動内容に合わせ、時々カメラを切り替えて、市内外の多くの視聴者からはリアルタイムで質問等のコメントが入り、発信担当の教員が、それらに対して随時回答しつつ、公開授業は進みました。



教室前の定点カメラとPC



視聴者の画面(Zoom)

この公開授業は、NIEの実践としても非常に興味深いものでしたが、オンラインでの授業参観という形態に、大きな示唆を受けました。

小中一貫教育の推進に関して、ブロックの小学校と中学校の教員がそれぞれの授業を相互に参観することの意義は大きいと以前から言われています。一方で、日時の調整の難しさや学校間の距離の問題などから、実践があまり進んでいないのも事実です。

しかし、オンラインでの授業参観なら、これらの問題は解決され、比較的容易に多くの教職員が参観できます。本市のICT環境は充実しており、校務用PCやChromeBookでビデオ会議ツール「Meet」を使えば、すぐにオンラインで発信する準備は整います。

Meetでのオンライン授業参観では、チャット機能を使って、視聴者同士がリアルタイムで授業の感想を交流することも考えられます。通常の授業参観中に参観者が私語をすることはご法度ですが、オンラインのチャット欄ならば、複数の視聴者と一度に意見を共有できます。

新しい授業参観・授業研究会の在り方として、オンラインでの実施は非常に有効だと感じました。

### 先生方へ おすすめICT活用

この度の豊富小中学校の公開授業は、7年生(中1)の国語の授業でした。「表現や視点の違いに着目した多読読み比べ」をテーマとし、4人班で、ある事柄について書かれた複数の新聞記事を読み比べ、それぞれ気が付いたことをChromeBook上で、電子ホワイトボードアプリ(Janboard)を使って交流するという学習活動が行われました。

活動のイメージは、班の中で一枚の模造紙にそれぞれが付箋を貼って意見交流するようなものです。授業者の先生によれば、模造紙を使うよりも、圧倒的に効果的とのこと。そのポイントは、「共有・同時編集」です。

このアプリを使うことで、生徒は班員が今、入力した付箋を、即時、見ることが出来ます。そして、そこに自分の付箋を貼ることも出来ます。また、教員も指導者用PCから各班の作業状況を確認し、同じように、その場で、指示や助言を付箋で伝えることが出来ます。

目前の画面に表示されたワープロ文字の付箋は、模造紙に貼った手書きの付箋よりも読みやすく、互いの意見をより理解しやすいと思われれます。授業後の生徒の振り返りにも「同じ記事を見ている人も、一人一人違うことが違っていて...」といった記述が見られました。



記事についての班員の意見(付箋)を読む生徒

コロナ禍における、対面での班活動が難しい今でも、画面を通して対話ができる有効なツールだと思えました。また、活用されていない方は、是非、試してみてください。おすすめです。